

「聖武天皇、大仏をつくる」

活用資料展開例に対応する、学習指導要領小学校社会科の目標と内容

目標（3） 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にしてい国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

内容（2） 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

（イ）大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解する。

単元の活用可能資料例

学習指導要領該当項目	活用可能資料
(2) - ア (イ)	
木簡からよみがえる人々の暮らし	資料編 3 口絵 P7 ~ 8 山梨郡貢進物付札木簡
聖武天皇、大仏をつくる 展開例参照	資料編 1 口絵 P16 甲斐国分寺跡塔跡 甲斐国文尼寺跡全景 資料編 1 P871 甲斐国分二寺跡全体図 通史編 1 口絵 2 2 一宮町周辺に残る条里制土地割 通史編 1 P568 ~ 570 甲斐国府の所在 甲斐国府推定地周辺図

展開例

対象となる時間 学習指導要領 内容(2)-ア(イ)

所要時間 1単位時間(45分)

本時の目標

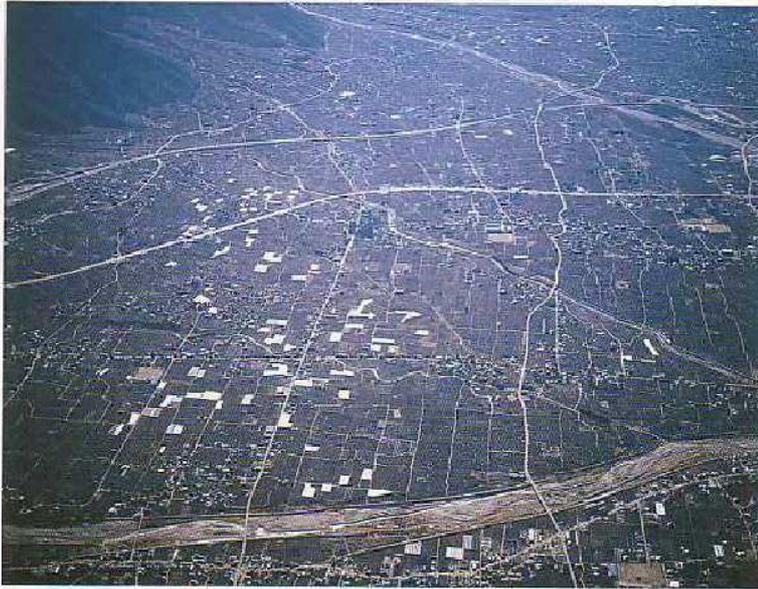
- ・大仏建立の時代背景や聖武天皇の願いなどについて調べ、大仏建立が国家を挙げての事業であったことや、大陸から伝わった技術に支えられたことなどをとらえることができるようにする。
- ・山梨の国分寺について知り、当時、一宮周辺(春日居、一宮、御坂)が山梨の中心であったことや、天皇の力が地方に及んでいたことを理解する。

	学習の流れ	提示資料	児童の活動
導	1 東大寺の大仏について調べる <ul style="list-style-type: none"> ・いつ、どこにつくられたのかな ・大きさは、重さは ・何でできてるのかな 	教科書・資料集など	東大寺の大仏について教科書や資料集等で調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・8世紀なかごろ、奈良の東大寺 ・座高約16メートル 重さ 推定380t ・銅487t , すず8.3t 金430kg ・聖武天皇
入	<ul style="list-style-type: none"> ・だれがつくったのかな ・何のためにつくったのかな <ul style="list-style-type: none"> ・どうやってつくったのかな 		<ul style="list-style-type: none"> ・仏教の力で人々の不安を鎮め、国を守りたい。 都に東大寺、大仏 地方に国分寺 ・全国から材料、物資、 農民などの労働者を集めた ・渡来人の技術者
15分	大仏の建立が全国的な事業であったこと、聖武天皇の動員力が大きかったことなどをおさえる。 2 その当時の世の中の様子について知る。		大仏を作らねばならなかった当時の様子を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・都での伝染病 ・地方での飢饉、貴族の 争い

展 開	<p>3 山梨の国分寺について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにたてられたのだろうか 	<p>教科書（国分寺全国推定地図） 資料編 1 口絵 P16 資料編 1 P871</p>	<p>山梨の国分寺について調べ、都とのつながりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地名をヒントに考える 一宮町国分
25 分	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、一宮だったのだろうか ア春日居町国府や御坂町国衛という地名から イ条理の跡から ウその当時の道が付近を通っていることから 	<p>山梨全図 通史編 1 口絵 2 2 通史編 1 P568 ~ 570</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くにの中心を示すような地名や一宮付近の条理区画の跡、当時の道（御坂路、若彦路）をヒントに考える この地域が山梨の中心地だったのではないか
ま と め 5 分	<p>4 学習感想を書く</p>		<p>本時の学習でわかったことや考えたことを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政治が地方にまでおよんでいたんだなあ ・甲斐の国の中心が私たちの住んでいるあたりだったんだな ・いつごろから、なぜ、甲斐の中心が甲府に移り変わっていったのかなあ

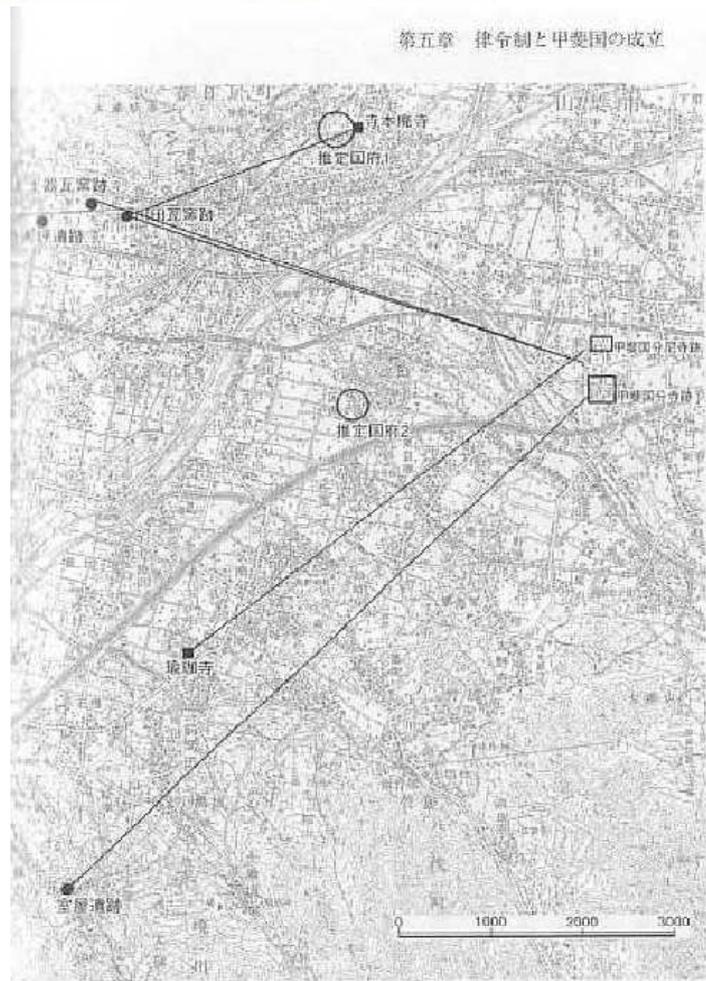
甲斐国分寺跡、甲斐国分尼寺跡の見学、県立博物館の見学

通史編 口絵 一宮町周辺に残る条里型地割り



22 一宮町周辺に残る条里型地割り

通史編 1 P568 ~ 570
国府推定地周辺地図



— 9 甲斐国府推定地周辺地図 (国土地理院発行5万分の1地形図「甲府」をもとに作成)